

昇降コードの交換方法（ワンポール操作）

ヨコ型ブラインド

対応製品：シルキー（2000年4月～2018年5月）、シルキーカーテン（2000年4月～）
（上記期間以外の商品につきましてはお問合せください）
必要工具：マイナスドライバー（サイズ2番）、ライター、はさみ、ラジオペンチ、クリップ

難易度 ★★★（DIYが得意な方向けです）

まず交換用の昇降コードを用意してください。昇降コードの長さは次の計算式で算出してください。

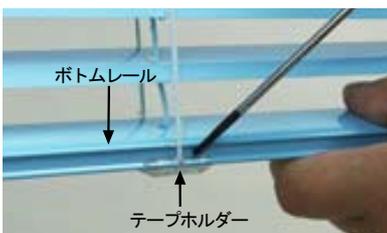
$$n \times (H + \text{Hop} + 0.2) + \frac{n}{2} \times W$$

n：昇降コード本数 W：製品幅（m） H：製品高さ（m） Hop：ワンポールの長さ

ご注文時には製品名、サイズ、色、必要m数をご連絡ください。製品名、サイズ、色はメンテナンスシールに記載してあります。（メンテナンスシールの見方は「メンテナンスシールの見方」のページをご覧ください）

▶ 昇降コードがまだ切れていない場合

1 ボトムレール下側についているテープホルダーを先端が細いマイナスドライバーで取外してください。



2 ボトムレール内から昇降コードを引き出し、結び目をほどいてください。



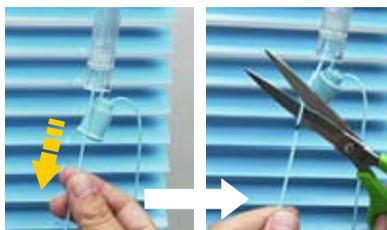
3 結び目をほどいた古い昇降コードに新しい昇降コードをライターの火であぶって溶着してください。



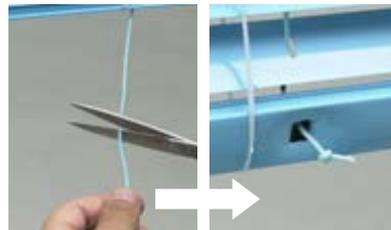
4 溶着したら手で引っばって切れないことを確認してください。



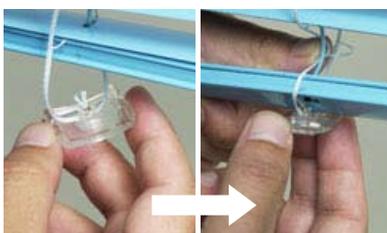
5 操作側から新しい昇降コードが出てくるまで古い昇降コードを引き出してください。この時溶着部分が切れないように静かに引き出してください。その後、古い昇降コードの部分をカットしてください。



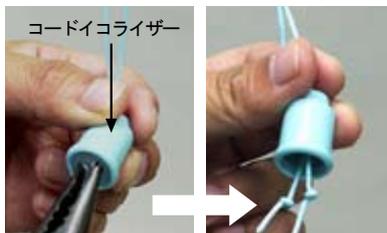
6 ボトムレール側の昇降コードをカットして結び目を作り、ボトムレールの中に押し込んでください。



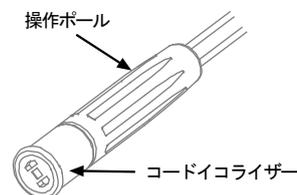
7 テープホルダーを取付けてください。高さ調整機能がついているテープホルダーは写真のようにラダーコードにセットして取付けてください。



8 ラジオペンチでイコライザーのキャップをつまんで引抜き、古い昇降コードを取外してください。そのコードイコライザーを新しい昇降コードに取付けてください。



ブラインドを一番下まで降ろした時、下図のようにコードイコライザーと操作ボールのグリップ部の隙間がなくなるようにコードイコライザー内の昇降コードの結び目を調整して取付けてください。



昇降コードの交換方法（ワンポール操作）

ヨコ型ブラインド

対応製品：シルキーRDS(2000年4月～2018年5月)、シルキーカーテン(2000年4月～)
 (上記期間以外の商品につきましてはお問合せください)
 必要工具：マイナスドライバー、ライター、はさみ、ラジオペンチ、クリップ

難易度 ★★★★★（難しくかなり面倒です）

まず交換用の昇降コードを用意してください。昇降コードの長さは次の計算式で算出してください。

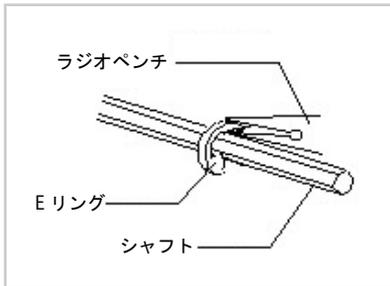
$$n \times (H + H_{op} + 0.2) + \frac{n}{2} \times W$$

n：昇降コード本数 W：製品幅 (m) H：製品高さ (m) Hop：ワンポールの長さ

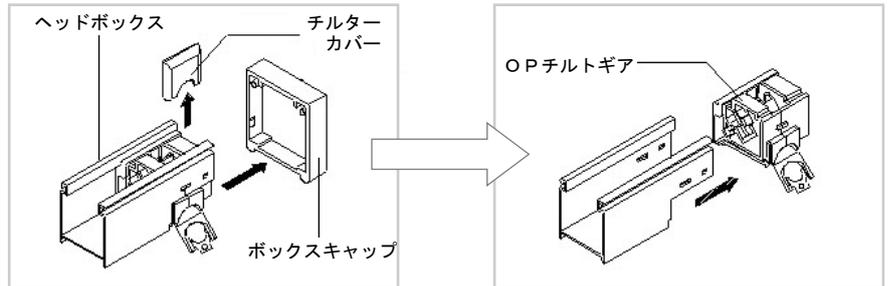
ご注文時には製品名、サイズ、色、必要m数をご連絡ください。製品名、サイズ、色はメンテナンスシールに記載してあります。
 (メンテナンスシールの見方は「メンテナンスシールの見方」のページをご覧ください)

▶ 昇降コードが完全に切れてしまっている場合

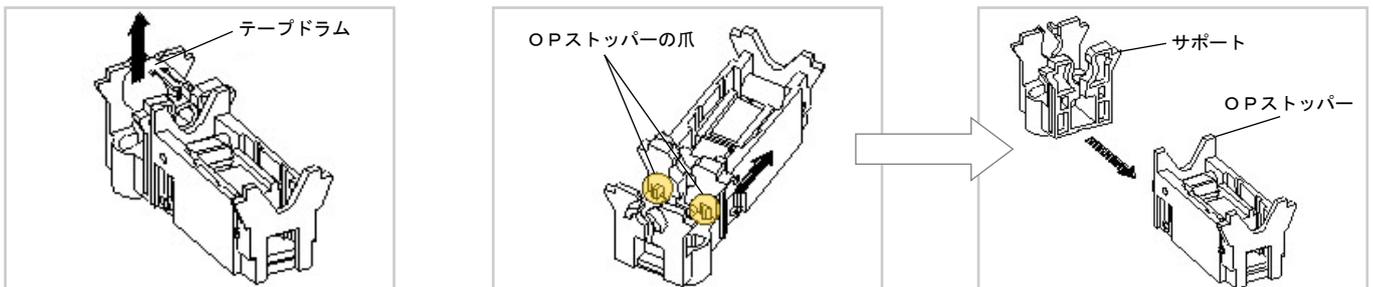
1 シャフトについているEリングを外し、シャフトを抜き取ります。
 (Eリングとはシャフトがずれないようにする為の金具です。ラジオペンチ等で挟み抜き取って下さい。)



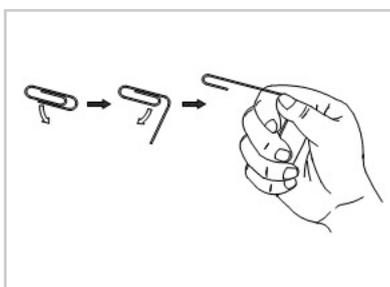
2 チルターカバーとボックスキャップを外し、ヘッドボックスからOPチルトギヤを抜き取ります。



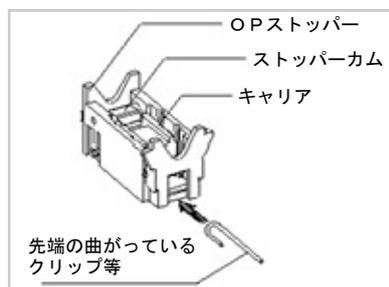
3 操作側のサポートからテープドラムを外した後、ラダーコード（先端クリッピング金物付）を外して、下図のOPストッパーケースの爪をラジオペンチ等で挟み込み、サポートからOPストッパー本体を外してください。



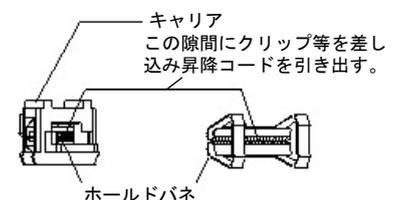
4 OPストッパー本体に新しい昇降コードを通す際は、下図のような先端が曲がっているクリップ等を用いて作業を行ってください。



まず最初に、OPストッパー本体の手前からキャリアの中にあるホールドバネ（金色の金物）を確認します。次にクリップ等の先端が曲がっている方をホールドバネの隙間に差し込みます。

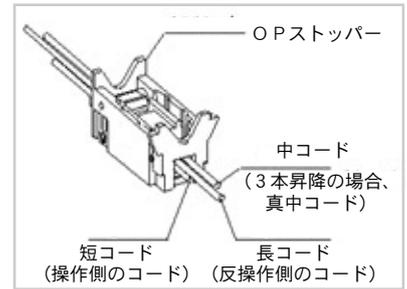
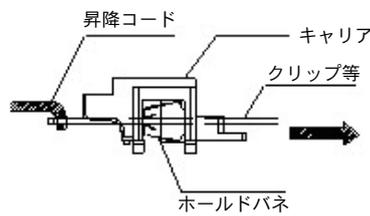
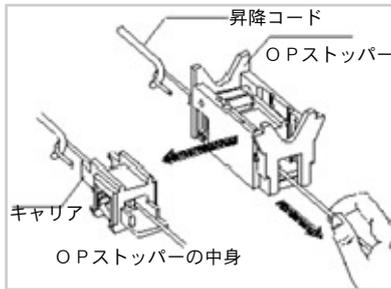


注) この時、ホールドバネの真ん中の隙間ではなく下側や上側にクリップ等を差し込み、昇降コードを通してしまいますと、ストッパー不良の原因になりますので、慎重に確認して作業を行ってください。



下図のように、クリップ等の先端の曲がっている方に新しい昇降コードの先端を引っ掛け、ゆっくりと引っ張ってください。OPストッパー本体から新しい昇降コードの先端が出てきましたら、昇降コードの方を引っ張り確実に引き出してください。またこの作業は、昇降コード1本ずつ行ってください。2本又は3本の昇降コードを同時に通しますと、ホールドバネを押し広げるばかりでなく、コードが乗り上げた状態になりやすく、ストッパー不良の原因にもつながりますので避けてください。

昇降コードを通す順番としては、以下のとおりです。右操作、左操作共、手前(室内)側が操作側の短コードとなります。また昇降コードが綺麗に整列した状態であることを確認してください。

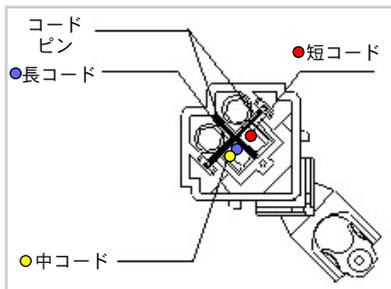


5 OPストッパーに新しい昇降コードを通し終わりましたら、OPストッパー単体で数回昇降コードを引っ張り、ストッパーの効き具合を確認してください。

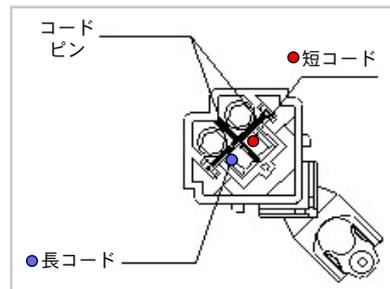
6 ⑤で動作を確認したのち、OPストッパーケースの爪をサポートの穴に差し込み、しっかりと嵌合させてください。

7 OPストッパーからでていた昇降コードを次に操作ギヤに通します。操作ギヤには、十字にコードピンが取り付けられていますので、下図のように昇降コードを通してください。

■ 3本昇降の場合



■ 2本昇降の場合



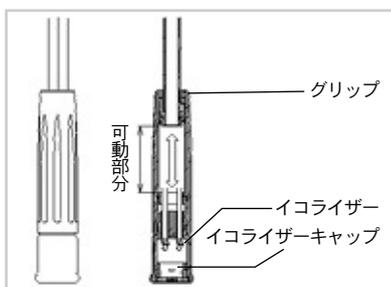
8 操作ボールの中に昇降コードを通します。特に3本昇降コードの場合は、コードどうしが絡み合わないよう注意して通してください。操作ボールの中に昇降コードがまだ残っている場合は、残っているコードと新しいコードをライター等で溶着した方が操作ボールに通す手間が省けます。

9 ③で外したテープドラムにラダーコードを取付け、サポートに組み込みます。

10 ①で抜き取ったシャフトを、ギヤに入る長さの位置に合わせ差込みます。

※ヘッドボックス端部から約5mmマイナスした位置です。(この時、サポートの向きが全て同じになるようにしてください。)

11 昇降コードの長さをグリップにイコライザーがきれいに納まり且つ左右のスラットが水平になるように調整してください。グリップにイコライザーがきれいに納まるように、グリップは可動(2cm程度)するようになっています。



注) 上図のように昇降コードをイコライザーに固定する際は、コード1本ずつを結んでとめてください。また昇降コードの先端は、切ったままの状態にしますとほつれる場合がありますので、ライター等であぶり固めてください。